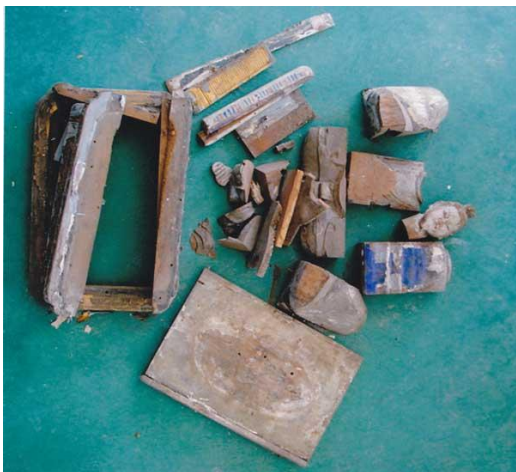


■菅原道真公修復工程



▲ 1. 修復前



▲ 2. 分解作業。構造、部品等確認



▲ 3. 熱湯による虫駆除、表面塗装の剥がし作業。後、天日乾燥



▲ 4. 部品組合せ。欠損部分の再生、破損部位の補修作業。



▲ 5. 補強作業。膠、麻を使用し、全体を補強する。



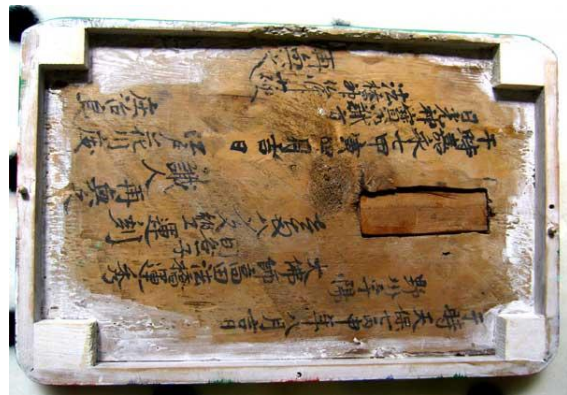
▲ 6. 御身生地の完成



▲ 7. 台座生地の完成

▼ 8. 彩色仕上げ、完成。色々のデーターを参考し、本来の風格を再現





## 菅原道真公像修復履歴

### 一. 菅原道真公像の歴史：

幕末の天保7年（1836年）、栃木県■■■在住の大仏師  
高田■■■■氏による制作。

現在に至るまで約175年の歴史があります。

本体高さ8寸、幅9寸、奥行4寸。

台座高さ4寸、幅11寸、奥行5寸。

### 二. 修復経緯：

長い間に屋外の建造物に安置されていたため、その建造物自体も長期間に渡って風雨に浸食されていて、中にあるお姿がバラバラの状況になり、存続の危機に直面していた。

従って、施主の■■■■■氏の発起により、中国福建省在住の大仏師 翁玉明氏（オウ ギョクメイ 48歳）に修復を依頼。2010年10月から2011年4月の間、約半年間を費やし、ようやく修復作業が終了しました。

### 三. 制作担当会社：

株式会社 JAC 創藝

東京都中央区日本橋浜町2-7-5